

I 中期経営計画初年度（2022年度）の振り返り

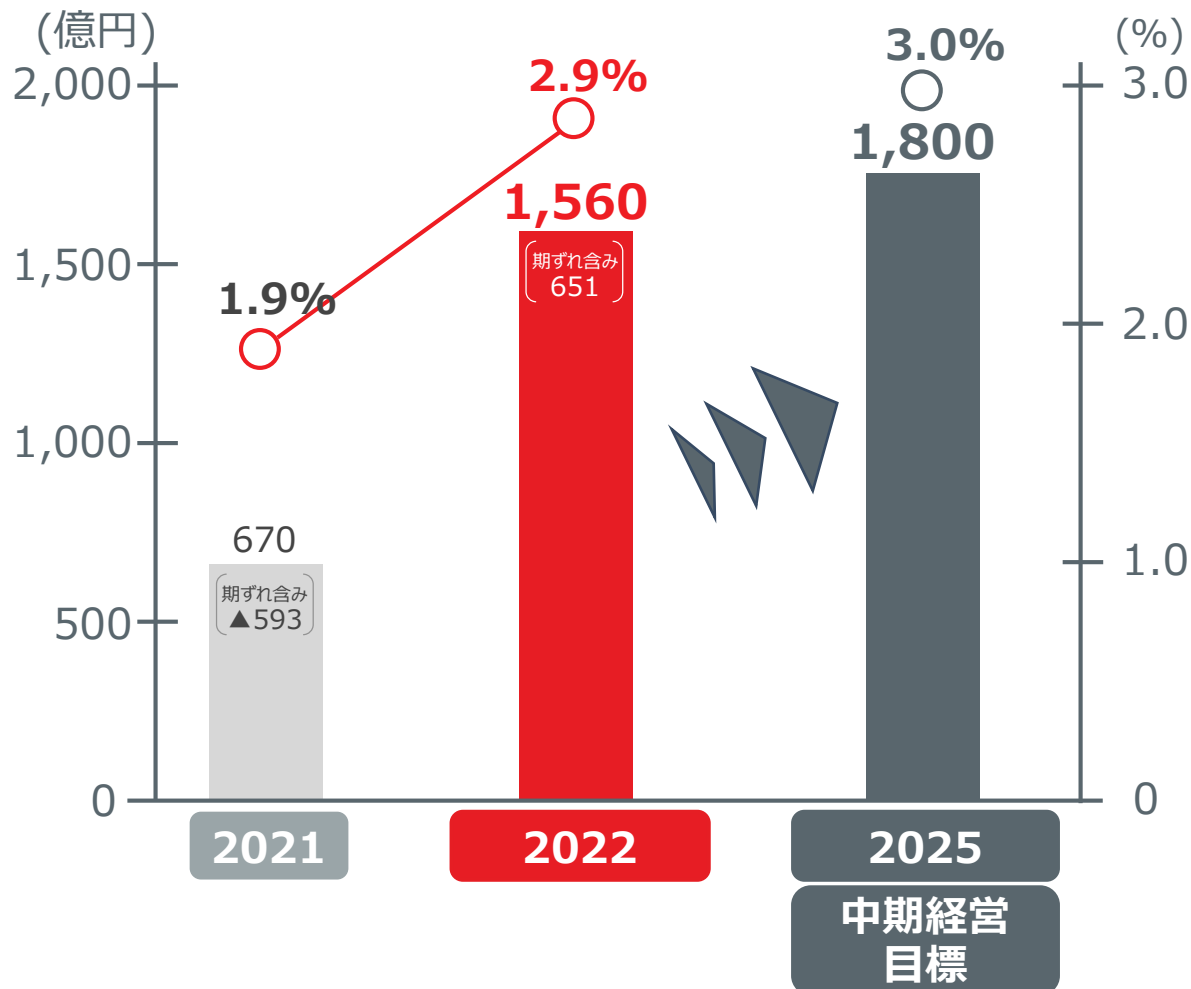
I 中期経営計画初年度（2022年度）の振り返り



財務関連

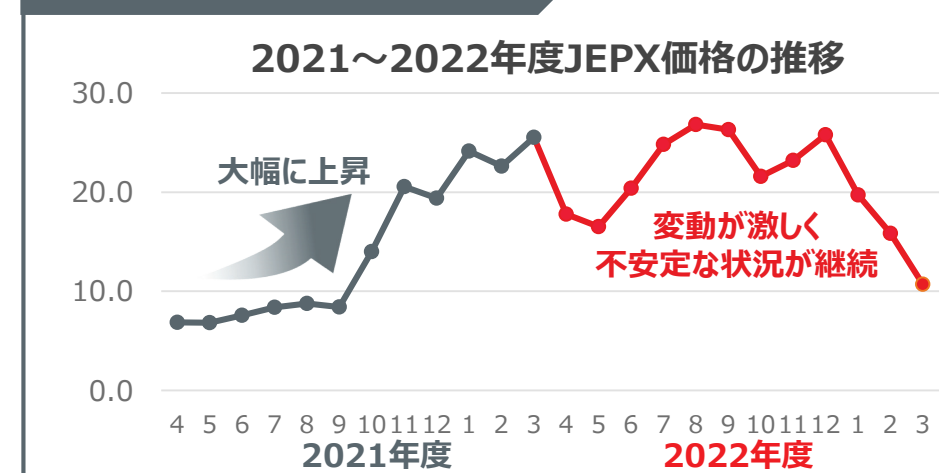
- 2022年度は、利益回復水準の目安を超える1,560億円程度となりました。依然として資源価格をはじめとした不透明な事業環境が継続することが想定されますが、引き続き経営目標達成を目指してまいります。

連結経常利益※1 および ROIC(期ずれ除き)



セグメント	2022年度実績	2025年度中期経営目標
中部電力ミライズ	648	200~300
中部電力パワーグリッド	70	200~300
JERA	670	700~800
その他	175	500~600
合計※2	1,560	1,800

資源価格高騰による影響



2 ※1:期ずれ除き ※2:各セグメント実績は端数処理を実施しており、合計値とは一致しておりません

I 中期経営計画初年度（2022年度）の振り返り

2022年度の成果と課題

領域

成果と課題

対応の方向性

エネルギー事業領域

成果

- 資源価格をはじめ**不安定な事業環境下**においても、**安定供給を確保**するとともに、**発電分離モデルの特徴を活かし、機動的な対応を実施**
 - ✓ 中部電力ミライズにおいて、**電源調達コスト削減**に向けた取り組みや、**調達コストを踏まえた販売活動の展開**
 - ✓ JERAGM^{*1}において、**資源価格の変動性が高い状況を活かしたトレーディング事業**を展開

課題

- 資源価格による**収支変動リスク**が大きい**事業構造の是正**
- CN^{*2}に向けた**持続的な取り組みとレジリエンス強化の推進**

- **安全・安価で安定的なエネルギーのお届け**
- **電力ネットワークの次世代化**
- **脱炭素社会実現に向けた取り組み加速**

新成長領域

成果

- **Eneco社を中心とした、欧州での再エネ発電・小売り・新サービスなどの成長領域拡大**
- **bp社と日本およびアジア地域の脱炭素化に向けた協力協定**
- **日本エスコンの自律的・機動的な事業運営による利益獲得**

課題

- **お客さまのご要望**にお応えする**サービスラインナップの拡充**
- **戦略的投資等**を通じた、**M&A推進／早期の収益獲得**

- **グローバル事業の取り組み加速**
- **地域の課題解決と活性化への貢献**
- **ビジネスパートナーとともに、お客さま・社会へ新たな価値をお届け**

経営基盤

成果

- 事業拡大・変化に応じた**キャリア採用の拡充**と**分野別教育の強化**
- グループ一体となった**経営効率化の更なる深掘り**
- **リチウム回収技術の確立**を目指し、**共同研究講座**を設立。

課題

- **託送業務で知り得た情報の漏洩**や、**公正取引委員会から独占禁止法違反の疑いを持たれたこと**等の事象発生

- **各事業領域の特性に合わせた効率性のさらなる向上**
- **人的資本の価値向上**
- **技術研究開発の推進**
- **コンプライアンスに係る取り組み**